

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町 21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862



拓心館グループ 北海道・東北ブロック優勝!

5月15〜16日の2日間、仙台市『シエルコム仙台』において「第10回全国障害者スポーツ大会知的障害者団体競技北海道・東北ブロック予選ソフトボール競技」が開催されました。拓心館グループからは、4名の選手と1名のコーチが青森県選抜チームの一員として参加しました。大会には青森県選抜チーム、宮城県選抜チーム、秋田県選抜チームの全3チームが参加し、トーナメント方式で優勝を争いました。

区3名、八戸地区6名の選手及びコーチで結成されました。大会に臨むに際しては、全4回の合同練習を重ねました。朝から日が暮れるまでのスパルタ練習でしたが欠席者はなく、個々の技術はもちろんのこと、チームワークを大いに深めることができました。

大会においては、1回戦は秋田県選抜チームと戦い12対0の3回コールドゲームで勝利を収めました。決勝は、昨年度は苦杯をなめた宮城県選抜チームとの対戦でした。「絶対勝つぞおおお!」と円陣を組み、気合満点で挑んだ青森県選抜チームは、最大6点差をひっくり返して、見事7対6の大逆転勝利を収めました!6年ぶりの全国大会出場に、選手、コーチ陣共々涙を流し抱き合って喜びました。

また、5月22日に三村知事を結果報告のため表敬訪問し、激励の言葉を頂きました。

青森県選抜チームは、10月23日より千葉県にて開催される「第10回全国障害者スポーツ大会」に出場することになります。チーム一丸となり力を合わせ頑張ります。



特別養護老人ホーム サンアップルグループ
認知症対応型デイサービス
「じよい」の取り組み

認知症と診断された方の中には、一般のデイサービスでは自分かどのように過ごしてよいか分からず不安になったり、賑やか過ぎて更に不穏になるなどの問題が発生したり、又は孤独を感じている方も少なくありません。認知症対応型では、不安や孤独にかられる事のないように定員12名の少人数の対応となっております。

認知症対応型デイサービス『じよい』では、利用者さんの生活の主体は家庭にあることを軸とし、「生活力の維持・向上」「認知症進行予防」「家族の身体的、精神的負担の軽減」を目的に取り組んでいます。

生活力については、①家事支援（米ときぎ、味噌汁作り）②食器の準備③洗濯干し④配膳のお手伝い⑤下膳、食器洗い、食器拭き、片付け⑥掃除など、家庭でも出来る事を、それぞれの能力に応じて行います。繰り返し行うことで、やがて役割とならないかの動きが、スムーズに出来るようになってきます。

認知症進行予防は、機能訓練士の

指示を受けて「歌いながら行う体操」、輪投げ・ボーリングなどのレクリエーション、音読と計算を中心とする教材を用いた学習など、コミュニケーションを取りながら行っています。低学年レベルから中学年レベルまで、計算力がアップした利用者さんもあります。半年に1回、長谷川式で評価を行っています。

ご家族への支援は、特に力を入れて、話をする機会を多くするように心がけています。日頃の悩みや疑問など積極的に聞き、そのご家族が抱えている問題を共有していくことで精神的負担や将来への不安を軽減できるように努めています。

上手にサービスを利用することによって、自宅で長く生活することは可能です。認知症対応型デイサービス『じよい』を、ぜひご利用下さい。



身体障害者授産施設 **旭光園**
楽しく働く
 軽作業班紹介

旭光園の作業は、ラベル部門・製袋部門・箸部門・食品加工部門（納豆・精米）・軽作業部門が主力作業になっています。今回は軽作業班を紹介します。

軽作業班では、旭光園オリジナルの紐付きゴミ袋と手付きゴミ袋の製作・漬物袋の折り直し・名入りタオルやキャンペーン用見本品の袋詰めなど、さまざまな種類の仕事があります。その時々で内容や手順が異なるため、機械を使う作業とは違う難しさがあります。

紐付きゴミ袋は巾着型の袋です。機械では作ることが出来ないため、紐通しはもちろん、紐を通す部分もひと袋ずつ手作りです。ハサミの入れ方を間違えると強度不足になり、製品になりません。漬物用の袋は、一斗用から四斗用の袋があり、三枚を重ねて四つ折や外装に合わせた折り方をします。特に四斗用の袋は1m四方と大きく、作業台からはみ出し、たたむ際に苦勞があります。どの作業においても、お客様に喜んでもらえるよう「仕上がり綺麗に」を心がけて頑張っています。



今年の春から新たな取り組みとして、利用者さんの持っている特技を生かした創作活動を行っています。たとえば、小物入れの製作・ちぎり絵・環境整備等、他の利用されている方に使ってもらい、喜んでもらえる物を考えています。環境整備の一环では、食堂の窓から見るところに花を植えて育てています。花を見て、心豊かに生活できるようにと考えてきました。アサガオ・ひまわりが大きく育っていくたびに、「早く咲くといいネ」などと会話や笑顔も増え、心のゆとりも見られております。

これからも、働く事への意欲を大切に、笑顔が一杯の旭光園になれるよう、支援していきたいと思っております。

身体障害者福祉施設 山郷館くろいし

『山郷館サポートセンター』
『くろいし』の紹介

山郷館総合支援センターには、『山郷館サポートセンターくろいし（地域活動支援センターI型）』と『山郷館地域活動支援センターキヤンパス（地域活動支援センターII型）』があります。

今回は、『山郷館サポートセンターくろいし』を紹介します。
この事業は、障がい者の地域生活支援を目的として、相談支援と日中活動の場の提供という2つの側面を持っています。

相談は、365日24時間体制で、電話や訪問による支援を行っており、年間およそ1200件の相談があります。相談には、社会福祉士や介護福祉士の資格を持つ相談支援専門員が福祉サービスに関することや、手当や年金他の制度の活用をはじめとして、在宅生活の中で起こる困りごとに対し、必要に応じて様々な専門機関や関係機関と連携しながら支援を行っています。

日中活動としては、働くことの訓練を目的とした活動（畑作業、クリーニング）と、交流や仲間作り、余暇支援を目的とした料理教室や絵手

紙教室、屋外レクリエーション等を行っています。利用者の皆さんが主体的に活動内容を決めて行う「あつぶるすくうる」という活動グループもあり、毎月2回（第2・4火曜日）活動しています。

7月は、絵手紙教室を開きました。講師のアドバイスを受けながら、どの方も真剣な表情で熱心に取り組まれていました。完成した作品は、個性が表れたどれも味わい深い作品に仕上がりました。また、最後に先生がひと筆を加えると、まったく新しい作品に生まれ変わり、その様子にあらためて絵手紙の奥深さを知りました。



これから、役に立つ楽しい教室を企画していきます。

知的障害者更生施設 拓光園
楽しかった夏の短期訓練

拓光園では、今年も7月31日から8月2日まで夏の短期訓練を行います。

した。

この訓練は、主に自閉的な障がいを持つ在宅の児童を対象に、学校の夏休み期間を利用して、主に当園において他の児童やボランティアとの交流を通して、様々な活動や社会体験を楽しみながら経験してもらうことを目的としています。

今回の訓練には、養護学校中等部2年生から高等部3年生までの12名の児童が参加し、その中には小学生の時から7年連続して参加している児童もいます。また、この訓練には、弘前学院大学のミスターラージというサークルが毎回ボランティアとして関わってくれ、プログラムの内容設定や進行を主体的に執り行い、今回は延べ74名が参加してくれました。

今回のプログラムの内容を簡単にご紹介しますと、一日目は、名札・名刺作りを通しての児童とボランティアとのラポール（信頼関係）作り、二日目は、社会生活適応訓練として買い物物の練習後、暑中見舞い作り、三日目は、当園で行っている椎茸班の作業として楢木運搬を行いました。



訓練初日は表情に多少硬さが見られていた児童も、ボランティアとのラポール（信頼関係）ができてくると次第に気持ちも乗ってきて、とてもいい表情で意欲的に日課に取り組んでくれました。そこには、ボランティアが児童一人ひとりの特性を踏まえ、まえたきめ細かな対応に努めたり、日課を把握してもらうために絵カードを用いたり、視覚に訴えるために写真や手順書などを随所に取り入れるなどの工夫や配慮を行っていることも大きな要因になっていると思います。

最終日の反省会では、ボランティアとの別れを惜しみながら、早くも冬に予定している訓練を強く待ち望む児童の声が多く聞かれました。そのため、今後も児童や保護者の声や要望を聞くことはもちろん、ボランティアとも十分に意見交換をしながら、より充実した訓練を行うことができるように取り組んでいきたいと思えます。

身体障害者福祉施設 山郷館グループ

山郷館デイ弘前日誌

弘前市ニュータウン大久保に、山郷館デイサービスセンター弘前が開設され、8度目の夏です。今回は、当センターより「旬の野菜」を話題にしたいと思います。

市内各所の「無人販売所」では、新鮮な野菜が手に入るといふことで、にぎわいを増しています。大久保町会内にも「無人販売所」が設置されています。初夏から秋にかけて、5名の方々の畑から、販売所に並べられていくそうです。その中のお一人が当センターのご近所で、開設当初より気さくに声をかけて下さっており、利用者の方皆さん、職員共々お付き合いさせて頂いています。そのお付き合ひの中で、利用者の皆さんより、



取れたての新鮮野菜は、大好評です

「旬の野菜を買いだめしたいのだけど…」という話題がきっかけで、当センターにも「無人販売所」の野菜を持ってきていただけるようになりまし。初夏には、アスパラガスが大人気！トマトやナス、胡瓜等の夏野菜も、瞬く間に売り切れてしまいました。夏の旬の野菜は、ほてった体を冷やす作用や暑さで奪われやすいビタミンCも多く含み、そして、何よ

りおいしいことを実感します。デイサービス利用者の皆さんの中には、事情により日々の食料品等の買い物が思うようにならない場合があります。初夏から秋にかけて、旬の野菜を手にする事ができ、楽しみの一つとなっています。野菜を一生懸命作り持ってきて頂き地域の方に感謝しています。今年も新鮮な夏野菜で元気に！暑さをのりきります。



ニュータウン大久保町会 & 山郷館デイサービスセンター弘前合同

ふれあい夏祭り

会場：山郷館デイサービスセンター弘前

日時：8月29日(日) 午後2時から

お気軽にご来場ください！

総合支援事業

障害者支援事業

高齢者介護事業

居宅介護事業

- 買物指導
- 津軽障害就業 生活支援センター ☎04524
- 弘前市福祉事業
- 弘前市障害者生活支援センター ☎042400
- 弘前市北都路福祉包括支援センター ☎042100
- 黒石市福祉事業
- 山郷館総合支援センター黒石 ☎05018

- 主に知的
- 知的障害者生活施設 拓光園 ☎02331
 - 通所利用事業
 - 拓光園短期入所支援センター
 - 拓光園障害児デイサービスセンター
 - 拓光園日中一時支援事業所
 - 拓光園共同生活介護事業所(2ヶ所)
 - 自立訓練事業(福祉型自立訓練 生活訓練)
 - 拓心館グループ ☎045220
 - はあと(児童自立支援センター)
 - 就労サポート(就業移行 就労継続B型事業 勇心学園(就労訓練施設))
 - エイブル(生活介護 就労継続支援B型)

- 主に身体
- 身体障害者福祉施設 山郷館 ☎02211
 - 山郷館身体障害者(児)短期入所事業所
 - 山郷館デイサービスセンター
 - 山郷館デイサービスセンター弘前
 - 山郷館デイサービスセンターくれよん
 - 山郷館地域活動支援センターくれよん
 - 山郷館訪問介護センター
 - 山郷館訪問介護センター黒石 ☎06080
 - 山郷館パレット(福祉ホム) ☎03070
 - 身体障害者福祉施設 山郷館くさじ ☎05155
 - 通所他障害者利用事業
 - 旭光園身体障害者短期入所事業所
 - 福祉ホムさわら

- 住宅型有料老人ホーム「わかば」 ☎02131
- サポートセンターわかば ☎01165
 - 認知症グループホームわかば
 - デイサービスセンターわかば
 - サンアップル在宅介護支援センター ☎02131
 - 特別養護老人ホーム
 - サンアップルホーム ☎02111
 - サンアップル短期入所生活介護センター
 - サンアップルホームデイサービスセンター
 - サンアップルヘルパーセンター ☎03758
 - 認知症グループホームアップル ☎02778
 - 認知症デイサービスセンターじょい ☎02013

- 山郷館居宅介護支援センター ☎02941
- サンアップル居宅介護支援センター ☎02131